



Junior Drive
Shiraishi Racing School

REPORT

報告書

8月10日 (水)

岡国フォーミュラトレーニング

8月18日 (木)

岡国フォーミュラトレーニング

8²⁰²² AUG





30℃

Track
OKAYAMA

Driver
Yuma Sugita/Yusuke Okano

★トレーニングプログラム

- 12:50～ 乗り込み準備 & ミラー調整
- 12:35～ フォーミュラ走行枠① 30分 ドライバー：Yuma Sugita
- 13:10～ ロガー & 車載映像 解析
- 13:45～ 乗り込み準備 & ミラー調整
- 13:55～ フォーミュラ走行枠② 30分 ドライバー：Yusuke Okano
- 14:30～ ロガー & 車載映像 解析
- 15:05～ 乗り込み準備 & ミラー調整
- 15:15～ フォーミュラ走行枠③ 30分 ドライバー：Yuma Sugita
- 15:50～ ロガー & 車載映像 解析
- 16:25～ 乗り込み準備 & ミラー調整
- 16:35～ フォーミュラ走行枠④ 30分 ドライバー：Yusuke Okano
- 17:10～ ロガー & 車載映像 解析
- 17:20 解散

- School Car -
Super-FJ

全長/全幅 3,935mm/1,700mm
車重：420kg
エンジン：1500cc/130ps/7000rpm
ミッション：ドグミッションHパターン5速
最高速：220km/h



2名ともに赤旗の原因に。ミスから学んだこと。

この日は2期生の岡野と杉田の2人がトレーニングに参加しました。天候はくもりでこの時期としては過ごしやすい環境の中行われました。

1枠目は杉田がドライブ。徐々にペースを上げていきたいところでしたが、開始5分を過ぎたところで最終コーナーでスピン。グラベルにはまってしまう、赤旗の原因を作っていました。まだまだセッションはこれからというタイミングでのミスなので、本人も反省した様子でした。2枠目は岡野がドライブ。久しぶりの走行からか、ラインどりの乱れが大きく、クリッピングポイントにつけないことが目立ちました。岡野もまた、自らのミスからスピンして止まってしまう、赤旗の原因を作っていました。

午後のセッションがスタート。3枠目は杉田が乗り込みます。午前の失敗から学び、確実に走行マイレージを稼ぎ、感覚を掴む時間として30分間を走り切りました。この日最後の4枠目は岡野がドライブ。午前に浮き彫りとなったラインどりの修正すべく出ていきました。しかし、一向に改善することができず、あっという間に30分間の走行が終わってしまいました。走行後に講師から今回の取り組み方の注意とアドバイスを受け、次回からの岡野の進化が問われます。



REPORT

8月18日 (木) 岡国フォーミュラトレーニング



32°C

Track
OKAYAMA

Driver
Yuzuki Miura/Yuma Sugita/Yusuke Okano

★トレーニングプログラム

- 8:50～ 乗り込み準備&ミラー調整
- 9:00～ フォーミュラ走行枠① 30分 ドライバー：Yuzuki Miura
- 9:40～ ロガー&車載映像 解析
- 10:10～ 乗り込み準備&ミラー調整
- 10:20～ フォーミュラ走行枠② 30分 ドライバー：Yusuke Okano
- 11:00～ ロガー&車載映像 解析
- 11:30～ 乗り込み準備&ミラー調整
- 11:40～ フォーミュラ走行枠③ 30分 ドライバー：Yuma Sugita
- 12:20～ ロガー&車載映像 解析
- 12:55～ 乗り込み準備&ミラー調整
- 13:05～ フォーミュラ走行枠④ 30分 ドライバー：Yuzuki Miura
- 13:45～ ロガー&車載映像 解析
- 14:15～ 乗り込み準備&ミラー調整
- 14:25～ フォーミュラ走行枠⑤ 30分 ドライバー：Yusuke Okano
- 15:05～ ロガー&車載映像 解析
- 15:35～ 乗り込み準備&ミラー調整
- 15:45～ フォーミュラ走行枠⑥ 30分 ドライバー：Yuma Sugita
- 16:25～ ロガー&車載映像 解析
- 16:40 解散

- School Car -
Super-FJ

全長/全幅 3,935mm/1,700mm
車重：420kg
エンジン：1500cc/130ps/7000rpm
ミッション：ドグミッションHパターン5速
最高速：220km/h

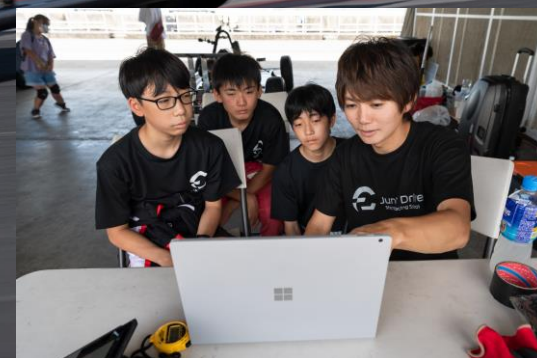


高グリップタイヤへの変更

今回からタイヤの仕様変更となり、より柔らかくグリップ力の高いタイヤを装着することになりました。

朝の天候は雨上がりの曇り空。路面は少し濡れており難しいコンディションでした。1枠目は前回クラッシュで終えた三浦がドライブ。まさかの前回クラッシュした時と全く同じ、やや濡れた路面コンディションの中、リベンジに出ていきました。走り出しはかなり慎重になっていましたが、1周1周確実に周回を重ね30分間を無事に走り切りました。2枠目は岡野がドライブ。前回の大きな課題であったラインどりを意識しながら30分間を有効に使いました。3枠目は杉田がドライブ。走り出しから好調でラップタイムも安定しており、3名の中でもトップのタイムをマークしました。

午後のセッションがスタート。タイヤも走行距離が少ない良いものへと交換しました。4枠目は三浦がドライブします。三浦としては久しぶりの完全ドライコンディションでのセッションとなります。まだクラッシュの影響が響いているのか、ラップタイムが安定せず毎ラップ大きなタイム差が発生していました。ただベストタイムは午前の杉田のタイムを更新し、一発の速さは証明しました。5枠目は岡野。午前の走行で指摘された部分の改善に取り組みました。6枠目は杉田がドライブ。ラップタイムも非常に良く安定しており、最後のラップで1期生の三浦を0.1秒上回るタイムを記録しました。



DRIVER PERFORMANCE

Yuma - SUGITA (13) Best 1.42.200

間違いなく今回、最も成長を見せたのは杉田です。日々シミュレータートレーニングに励み、自分の今の課題を克服するために練習を続けています。これまでやってきた練習の成果をしっかりとタイムにも結び付け、1期生の三浦を上回るタイムを記録し3名の中でもトップタイムをマークしました。ここで満足せず、さらに引き離せるか。杉田の進化が問われる時です。



Yuzuki - MIURA (15) Best 1.42.300

あのクラッシュから気持ちを切り替えて挑んだ三浦。今回のトレーニングでしっかりと課題が見つかりました。一発のタイムこそトップの杉田と変わらないものの、タイムの波が激しく、一貫性に欠けるのが課題です。負けない気持ちは誰よりも強く持っている三浦。次回は必ず修正してくるはずです。



Yusuke - OKANO (13) Best 1.45.300

そろそろ練習の成果を“タイム”という結果に繋げたい岡野。前回の課題を明白にして今回それを克服することはできました。あとは純粋にスピードがほしいところです。今より先に行くためには、今まで飛び込んだことのない領域へ挑戦する意思が大事です。そうすることでこれまで見たことのない景色が広がり、さらに上の感覚を身に着けることができます。気持ちで負けず、今の課題を一つ一つクリアにしていれば他の2人に迫り、追い越すことができるはずです。



【トレーニングを終えて】

岡山国際サーキットでのトレーニングに移り、1期生は約8カ月。2期生は4カ月ほどが経過しました。

生徒たちそれぞれのドライビング特性や人間性、このスポーツに対する姿勢などこれまで見えてこなかったところが少しずつ見えてきました。

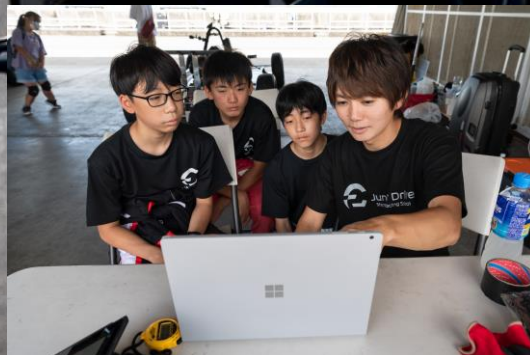
このプロジェクトの最大の目的は “将来、世界で活躍できるドライバーを育てる” にあります。

ドライビング能力の高さだけで上に行けるような世界ではありません。

“レーシングドライバーである前にヒトであれ” をモットーにこれからも彼らと向き合って参ります。

もうすぐ3期生たちのフォーミュラトレーニングがスタートします。

Junior Drive講師 白石勇樹





Junior Drive
Shiraiishi Racing School



舞洲スポーツアイランド



GARAGE38
Luce ed ombra

